

「マロニエ×並木 読売銀座プロジェクト」

「無印良品」世界旗艦店、日本初「(仮称)MUJI HOTEL」が2019年春開業予定

- 株式会社読売新聞東京本社（東京都千代田区 代表取締役社長 山口寿一）と三井不動産株式会社（東京都中央区 代表取締役社長 菰田正信）は、東京都中央区銀座3丁目において、商業とホテルの複合ビルを建設する「マロニエ×並木 読売銀座プロジェクト」を推進しており、6月15日に着工、6月19日に起工式を執り行いましたので、お知らせします。テナントには株式会社良品計画（東京都豊島区 代表取締役社長 松崎暁）と小田急グループのUDS株式会社（東京都渋谷区 代表取締役社長 中川敬文）が入り、竣工および開業は2019年春を予定しています。
- 古くからブランドショップが集まる並木通りに面し、銀座有数の賑わいを誇る銀座マロニエ通りに近接する本ビルは、商業施設「MARRONNIER GATE GINZA（マロニエゲート銀座）」を展開する読売新聞の新しい施設となります。銀座を訪れる人の流れを再構築し、9月で開業10年を迎えるマロニエゲート銀座1、今年3月に新装オープンしたマロニエゲート銀座2・3（旧プランタン銀座）と連携しつつ、銀座に新しい魅力を加えます。
- 本ビルは地下3階、地上10階建てで、地下1階～6階一部が店舗、6階一部から10階がホテルとなります。店舗部分には良品計画が運営する「無印良品」の世界旗艦店が出店します。また、ホテル部分には日本で初めての展開となる「(仮称)MUJI HOTEL」が入居します。「(仮称)MUJI HOTEL」は、良品計画がコンセプトの提供及び内装デザインを監修し、無印良品の家具やアメニティグッズを揃えます。ホテルの設計・運営はUDSが行います。
- 三井不動産は事業主である読売新聞東京本社から委託を受け、デベロップメントマネージャーとして、開発計画の立案、設計・施工管理、テナント誘致等を行い、竣工後はテナントへのマスターリースを担います。



「マロニエ×並木 読売銀座プロジェクト」(イメージ)
左：並木通りより(外観) 右：並木通りより(低層)

<添付資料1> 「マロニエ×並木 読売銀座プロジェクト」 概要

所在地	東京都中央区銀座3丁目103番3、4、6、14、15、21、40(地番)
事業者	株式会社読売新聞東京本社
アクセス	東京メトロ銀座線・丸ノ内線・日比谷線「銀座」駅 徒歩2分 東京メトロ有楽町線「銀座一丁目」駅 徒歩2分 JR「有楽町」駅 徒歩3分
敷地面積	約1,343㎡(約406坪)
延床面積	約14,219㎡(約4,301坪)
施設概要	店舗：地下1階～6階一部 ホテル：6階一部～10階
構造規模	地下3階、地上10階、塔屋2階建、S、SRC造、最高高さ:58m
基本設計・工事監理	株式会社石本建築事務所
実施設計・施工	株式会社竹中工務店
着工	2017年6月15日
竣工・開業	2019年春予定

<添付資料2> 位置図

